



タカチホヘビ  
(虹色がきれいでしょ!!)

いつの頃からか、私はなぜかカエルやヘビが好きになっていました。幼い頃からムシ達やザリガニ、オタマジャクシといった子供の目に届く多くの生き物に興味を持っていてなぜカエルやヘビを選び出していったのでしょうか？

大人になった今では思いあたる答えが見つかりません。ただ言えることは、今でも彼等を見ていると不思議なほどワクワクしニヤニヤと嬉しくなってしまう変な自分に気が付くことだけです。

こんな私が仕事としてフィールドに出られるのですから幸せなかげりです。どんな暑さ寒さや体のつかれも彼等に会った瞬間に「ワクワクニヤニヤ」が発症してしまい老けた子供になってしまいます。これは私だけでなく私の回りにいる仲間たちは皆同じなようですけれども(ムシ好き、サカナ好き、クサ好きイロイロいますが)…。ですから私の頭のフィールド・ノートにはみんなに話したいことがころがっています。今回は、何を話しましょうか。

イロイロあって悩んでしまったのでイロ(色)の話にしましょう。ヘビの色ってどんな色だか思い浮かびますか？テレビ等では外国産の鮮やかな紋様のあるヘビがよく映し出されますが日本のヘビもなかなか負けたものではありません。私がフィールドで会うヘビ達の内でもっとも魅力を感じる色は「タカチホヘ

### ある日のフィールド・ノートから

#### 私のフィールド・ノート

ビ (*Achalinus spinalis Peters*)」の控え目でありながらも妖しさを感じる色でしょう。何色かといえば、紫みを帯びた褐色という表現になると思いますが、そこに光が当たった瞬間、虹色の光沢が飛び込んでくるのです。彼等は主に朽ち木の下や、落葉の下を移動しミミズ等を食べて生活しています。また、最も大きくなっても50cmほどにしかならず目立たないヘビと言えます。ですから、私がフィールドで出会う機会も少なくひとしおの感激があります。

昨年の秋にも彼等に会う事が出来ました。環境調査の時間の中で、「ヒバカリ (*Natrix vibakari vibakari*)」(このヘビも小型で細身のうえ和らぎを感じる、なじみやすいヘビです)らしき脱皮殻をみつけ実個体の写真を撮るために、薄暗い樹林地の林床に堆積した落葉や石礫をひっくり返している際に見つける事が出来たのです。見つけた瞬間はヒバカリの幼蛇だと思いカメラを向けファインダーを覗き込んだ瞬間、あの虹色の光が映し込まれたのです。「ゲゲッ、これはあれだ!!」案の定「ワクワクニヤニヤ」です。周りに人

がいれば大騒ぎでかき集めていた事でしょう。しばらくの間、ファインダーの中で移り変わるイロに見とれていた自分でした。

イロについてのお話だけでも限りなく浮かんできます。イモリの腹の色(これは棲んでいる地域で色合や紋様が様々なのです、ちなみに私は関西方面のが好きです)や、トウキョウダルマガエルやトノサマガエルのように模様はないのではないかとと思われるような複雑な紋様、モリアオガエルのルビー色に輝く虹彩...このようにたった一つの事柄について考えただけでも、多くの事が浮かび上がる頭の中のフィールド・ノート、こんなノートを持つことが出来た自分に大きな喜びを感じている私です。皆さんも自分だけにしか書き込めない頭の中のフィールド・ノートがあるはずで、大きな宝物を大切にしてください。

最後に、野生生物に無闇に手を出したり彼等の生活の場に入り込むような事は決してよい事だとは思いません。しかし、どうしても待っているだけでは出会えなかったり、知ることも出来ない感動もあるのです。物事には限度があると思いますが私のような多少の無礼はお許し願いたいと思います。そして皆さんも上手に踏み込んでみてはいかがでしょうか。

(フリー調査者・北川徹)

先日、仕事をしていると、突然正面の窓ガラスに何かがあたった。なんだろうと思って見てみると、カキを投げつけたような跡がついている。子供のイタズラかと思ったが、次の瞬間、鳥がぶつかったのだとわかった。急いで外に出て探してみると、植え込みからハトサイズの鳥がふらふらと飛び去っていった。ガラスに気づかなかつたり、なわばりを主張する鳥が窓に写った自分につこんでくることがよくあるとか。何とかしてやれないものだろうか。(中村)

急に冷え込んだ朝、今年初めて冬の匂いをかいだ。子どもの頃の記憶がいっぺんによみがえる。がさがさと落ち葉を踏みわけて通った通学路。すすきの原っぱに基地を作って遊んだこと。子どもたちが今何をして遊んでいるのか知らないけれど、外遊びがすたれていないといいな、と思う。楽しいことの選択肢はたくさんあったほうがいい。ゲーセンも楽しいし、原っぱでひつつきむし(くつつく草の実)まみれになるのも楽しいものね。(南谷)

【発行】.....株式会社地域環境計画

発行人.....高塚敏

編集.....南谷佳世・中村兼吉・西邑恵子

東京本社

〒154 東京都世田谷区桜新町2-22-3 NDSビル

TEL 03-5450-3700 / FAX 03-5450-3701

営業窓口.....逸見一郎

大阪支社

〒569-11 大阪府高槻市古曽部町1-1-8

TEL 0726-84-3182 / FAX 0726-84-3184

営業窓口.....中山香代子・津田洋子